

難病患者在宅療養応援員 フォローアップ研修のご案内

「コミュニケーションツール・最新情報と楽しみ方」

コミュニケーションツールは日進月歩。でもパソコンなどに縁のない高齢の方たちは、機器の導入に戸惑いもあります。

そんな時どうすればいいのか。機器導入の前におさえておきたいことを学びましょう。

またスマホやタブレットのスイッチ・マウスでの操作方法紹介や、実際患者さんたちがコミュニケーション機器を使ってどんなことを楽しんでいるのかのお話、最近テレビなどでよく見る視線入力装置のお試しもあります。

今回の講師のおひとりである松尾さんは・・・お父様が難病のALSを発症された際の介護経験から障害者のニーズや課題を痛感。特にコミュニケーション機器ではシンプルで使いやすいものが無いと判り、意思伝達装置を開発。現在はパナソニックエイジフリー株式会社に所属。製品の普及に加え、入力スイッチのホームページ「マイスイッチ」を立ち上げるなど、様々な情報発信にも力を入れてみえます。なかなかない機会ですので、ぜひご参加下さい！

日 時 平成30年12月16日(日)

午後1時～午後3時(受付は12時30分～)

ところ 羽島市福祉ふれあい会館 2階

羽島市福寿町浅平3丁目25番地

内 容

- 13:00～13:40「難しい？」を「やってみたい！」に～スイッチになれるところから始めよう～
講師:松尾 光晴 氏 <パナソニックエイジフリー(株)>
- 13:40～14:00「スマホやタブレットのスイッチ・マウスでの操作について」
講師:小木曾 愛 氏 <岐阜市障害者生活支援センター>
- 14:00～14:30「コミュニケーション機器で生活を楽しく」
講師:田中 則男 氏 <難病患者在宅療養応援員>
- 14:30～ 試してみよう! 視線入力装置・オリヒメ、ミヤスクなど

研修会は、
応援員以外の方
も参加できます。

問合せ・申込み先

難病生きがいサポートセンター TEL・FAX 058・214・8733

12月16日 応援員フォローアップ研修 参加申込書

氏名			所属		
住所					
TEL			FAX		
メールアドレス					
応援員登録(どちらかを○で囲んで下さい)	有 ・ 無				

※参加ご希望の方は、FAXなどで上記申込書をお送りください。※申し込み締切は12月7日(金)です。